

中央造幣廠接收參考書類

1551



虎一字第170號

第三方面軍司令部訓令

十二月二十八日 無錫

財政部駐滬特派員辨公處十二月香港戰特字第251號依り左記如  
キ交付接シレヲ以テ該明細書寫ニ基キ調査報告スベシ

左記

中央造幣廠接收員徐維謹渠志鶴等、言據レハ在滬工場及在滬物資  
接收ノ命ヲ受テ先ニ日方連絡官草部光雄面接シ機械物資等如何モ機械類ニ  
依リ搬出サレタルヤ報シヨラ求メ當方、追査ニ便ナラシム如ク依囑セシ所該人  
ヨリ左ノ如キ回答ニ接シタリ

依囑セシレタル調査ハ略其ノ概要ヲ得タルモ日方官兵種木中營ニ入リタル後ハ  
命令ヲ發スルモ會同ニ便ナラス爲ニ適確ナル調査時期ニ難シ然レドモ第三方面  
軍湯司令ノヨリ上海地區日本官兵善後連絡部長松井太一郎ニ對シ命令ヲ  
發スレバ調査ノ進行正式報告ヲ確密員ナラシメン

海軍

(原本納)

(熊本館)

依ッテ該人ノ言ニ基キ本造幣廠機械物件ノ保管場新明細書ヲ  
添付審査才請願ス

依而紐ニ明細書一部ヲ相添ヘ文書ヨリ以テ申請スルニ付貴司令部ヨリ

速カニ該連絡部長松井太久郎ニ転令願ノ如ク處理セシメレ

當方ノ追査ニ便ナラシメラレ度

附中央造幣廠資產損失略表寫一部(省略)

第三方面軍司令官 湯 恩 伯

上海地区日本官兵善後連絡部長 松井太久郎

海 軍

上海陸軍部ニ。 第一

昭和二十一年二月一日

上海海軍特別陸戰隊

上海方面日本海軍連絡部御中

中央造幣廠機械物件ニ関スル件回答

首題、件第三方面軍司令部訓令虎一字第170号ニ依リ關係

各部、綿密ナル再調査ヲ實施セルニ左ノ通

一調査狀況

日本側ニテ同廠、保管管理ニ當リタルハ中國側撤退數日後占據  
爾後之が保管ニ當リタルモノナル處現在ハ己ニ當時ノ關係員在滬  
セザルノミナラス之等關係員、交替數回ニ及ビ現在ニ至ルニ爲  
當時ノ  
狀況ヲ知悉セル者ナク尚占據當時ハ作戰警備ニ忙殺セラレ之等  
附屬物件、細部ニ至ル迄調査スルニ至ラザリシモノノ如ク關係書類

庶務主任



原稿ニ依リ回覽齊

正 置

等残置シテ今般終戦ニ至リ關係各部ヲ細部ニ涉リ再三  
調査セルモ現調査以上ノ事一切不明ナリ  
ニ現状 別紙ノ通

(別紙添)

海

自

1555

中央造兵廠(西光復路派遣隊)建物<sup>並</sup>附屬物件

所在地

上海西光復路

元所有者氏名

國民政府中華民國

延坪

一五、一六四。平方米

構造棟数

鉄筋コンクリート二棟煉瓦造二棟トタン屋根バリック

建一棟

建物名稱	延坪	棟数	記事	建物名稱	延坪	棟数	記事
兵舎	五三。 <small>果</small>	一	鉄筋コンクリート三階	倉庫	三六。 <small>果</small>	一	煉瓦造平家
烹炊所 <sup>及</sup> 倉庫	八九四。	一	煉瓦造平家	倉庫	二六。	一	鉄筋コンクリート二階
倉庫	一一八。	一	。	倉庫	一六八。	一	煉瓦造三階建
"	一七六七。	一	。	倉庫	四。	一	煉瓦造一階建
"	四〇。	一	。	倉庫	四。	一	。
"	九五。	一	。	倉庫	九五。	一	。

海軍

			書類棚	帽子掛	書棚	水屋	簞笥	花瓶置台	ボイラー	種目	員数	摘要	倉庫
													三 <sup>棟</sup>
				水上ボイラー	水槽	バッド	火鉢	衝立	鏡	種目	員数	摘要	車庫
													九 <sup>八</sup>
													終